

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

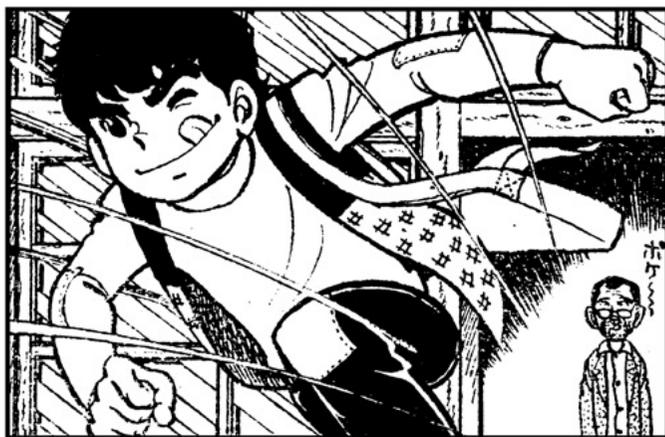
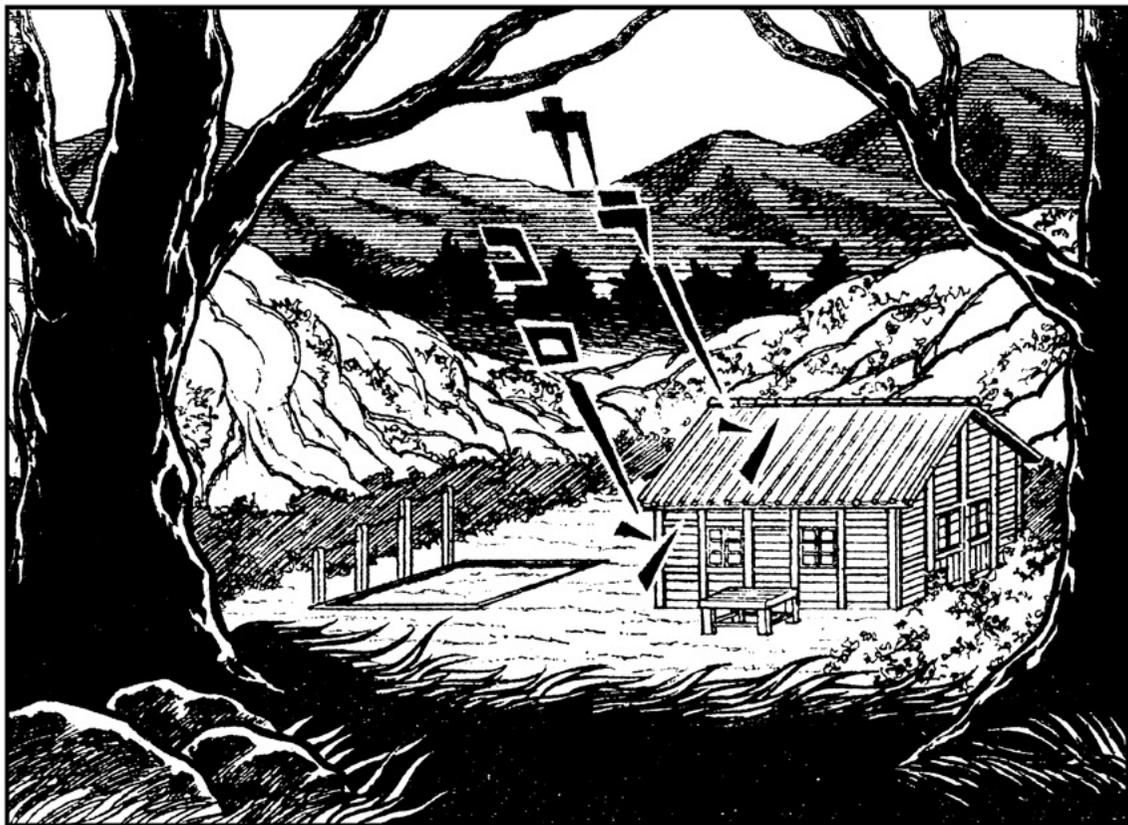
※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

しょう た

正太とキ子



かたおか^{てっし}徹治



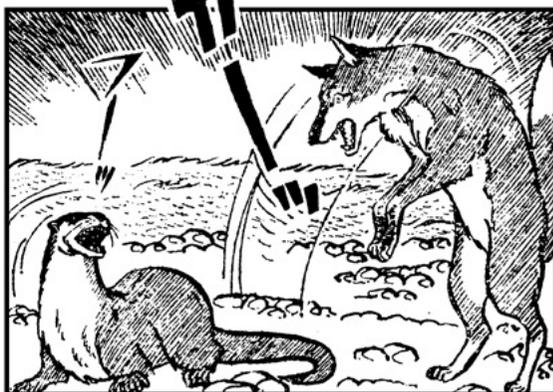
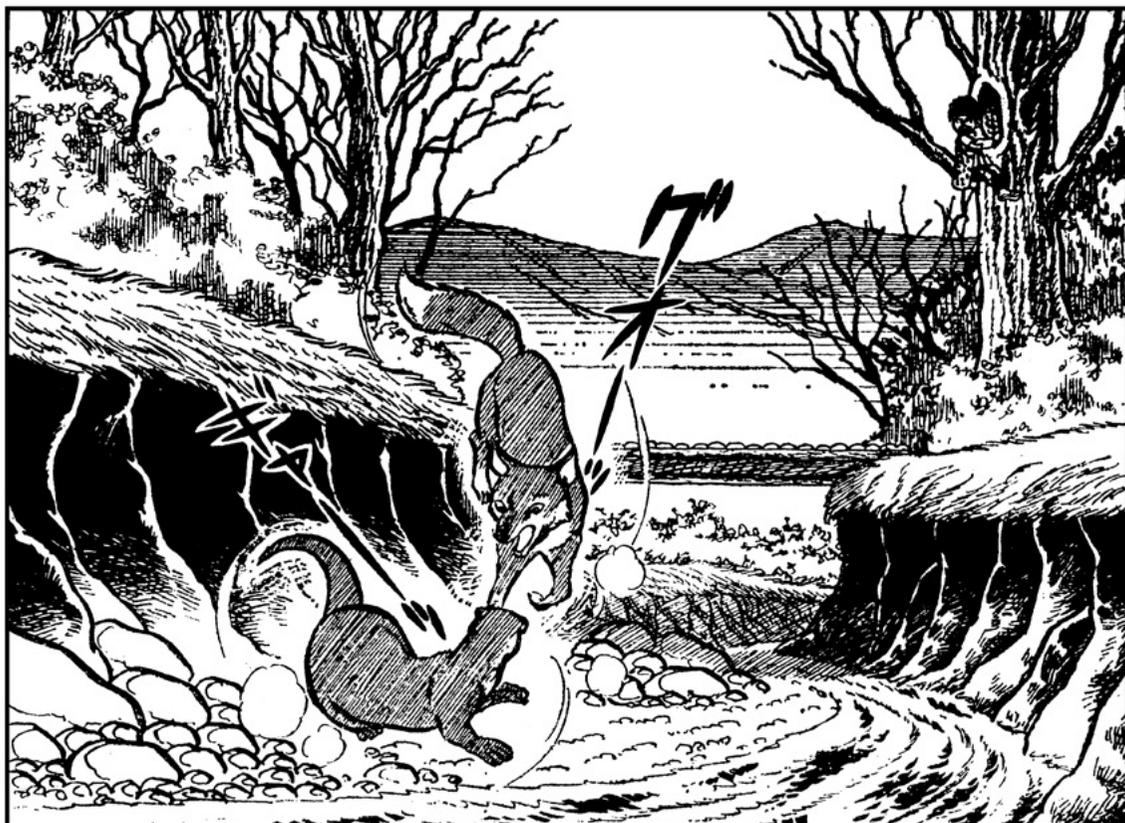
山のみなさん

こんにちは

仲良くよろうぜ

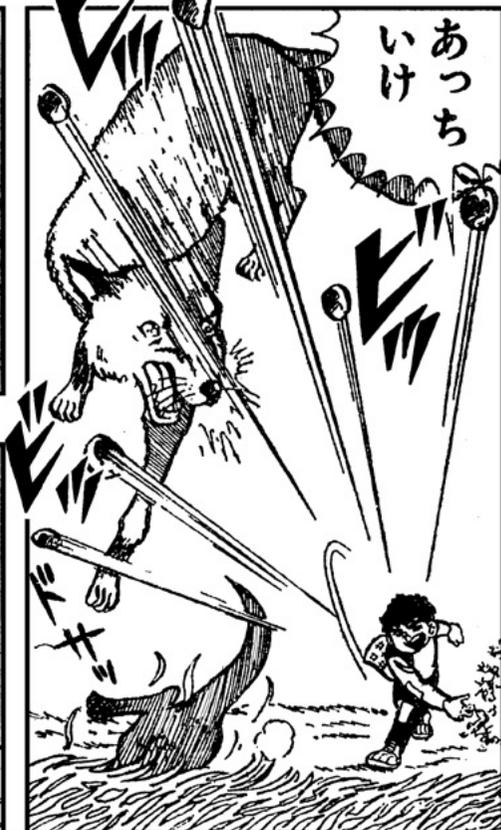
オしたちや仲間ア







ばかたり！



あっちいけ



あの魚をキツネが横どりしようとしたんだな



ちよつとのしんぼうだべ
おらんちにつれてつてやるかな

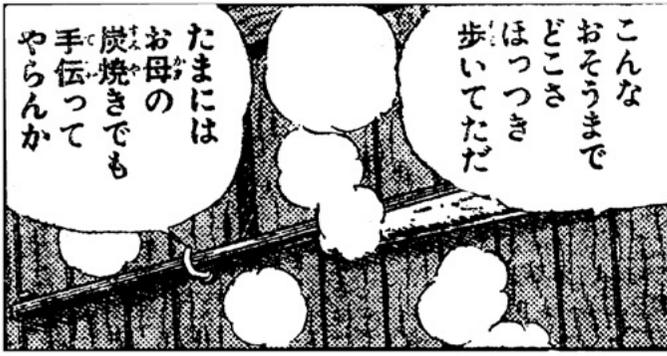


こいつなんだべ...
ゼエ
ゼエ
イタチにしちやあ体が大きい
し...
テンにしちやあ足に水かきがあるしな...
おらんちにつれてつてやるかな



キズがひどいな
すぐ手当てしてやらないと死んじゃうだ







ただけんど
そいつ
死にかけ
とるんじや
ないか?



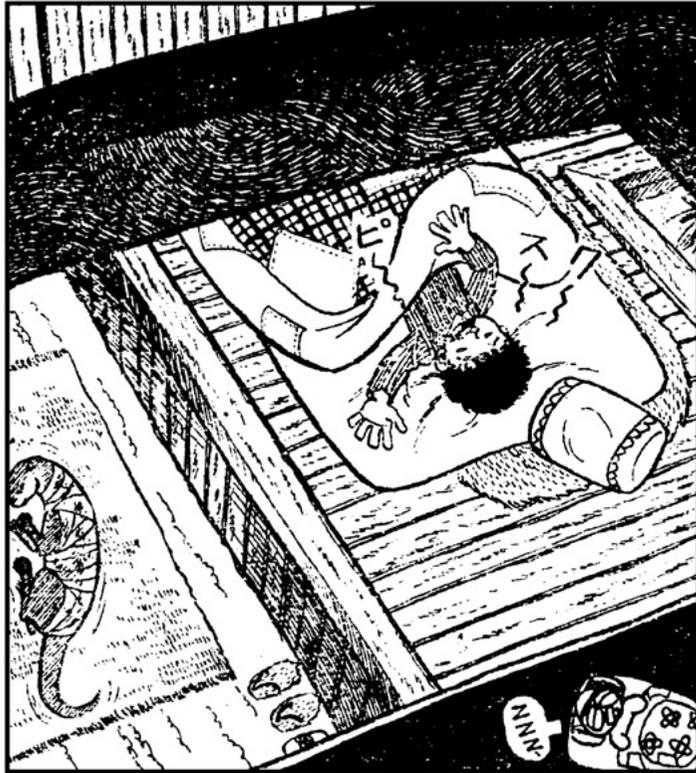
ただし
最後まで
自分で
めんどろを
みるという
条件だ

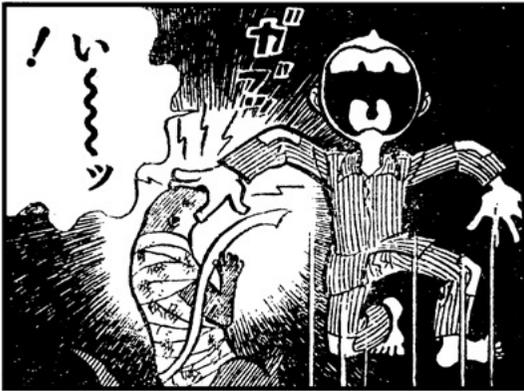
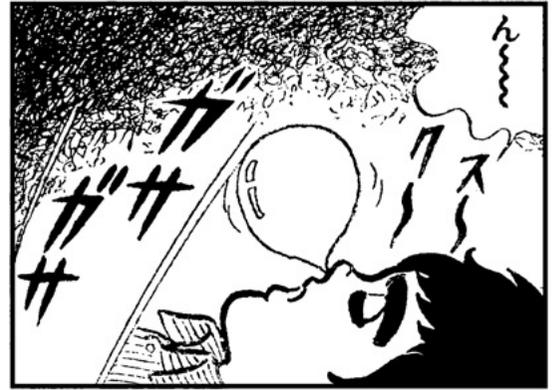


いけね...
自分で
やるん
だっけ...

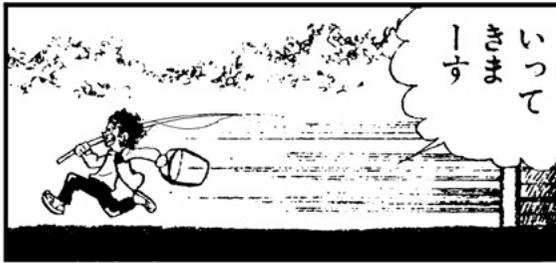
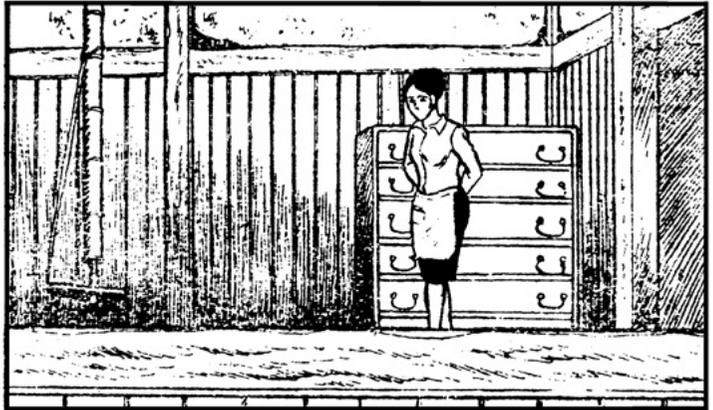


大丈夫!!
おらが
看病して
直して
やるだ

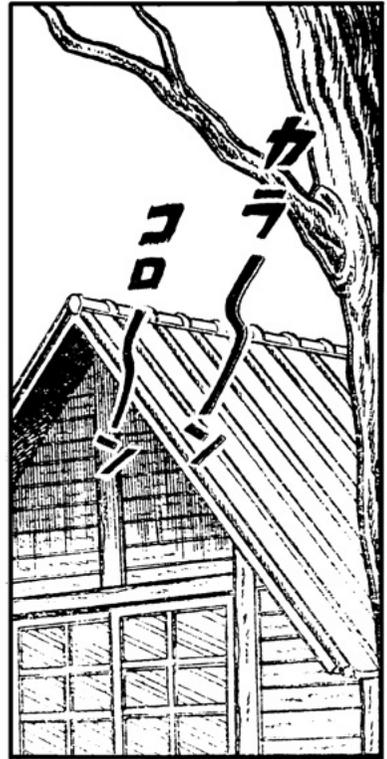


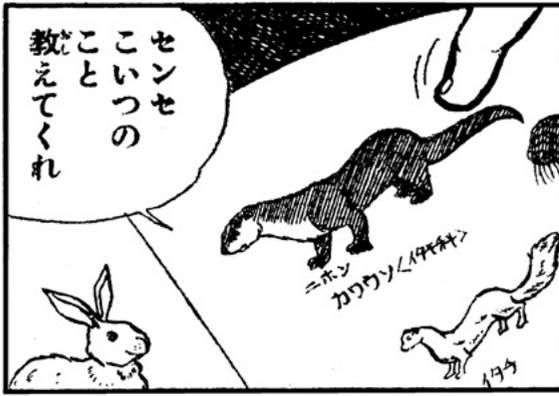




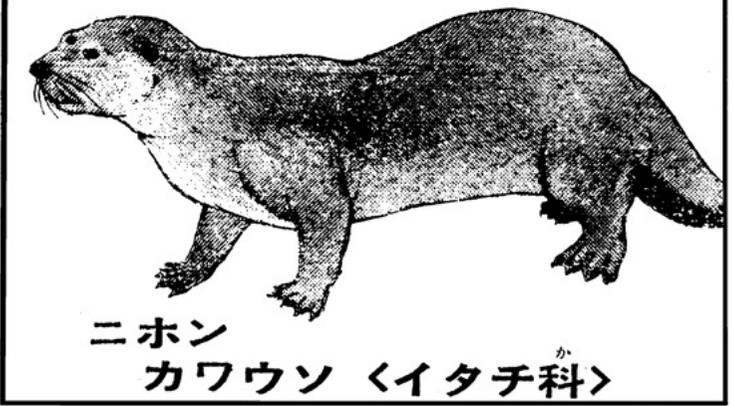




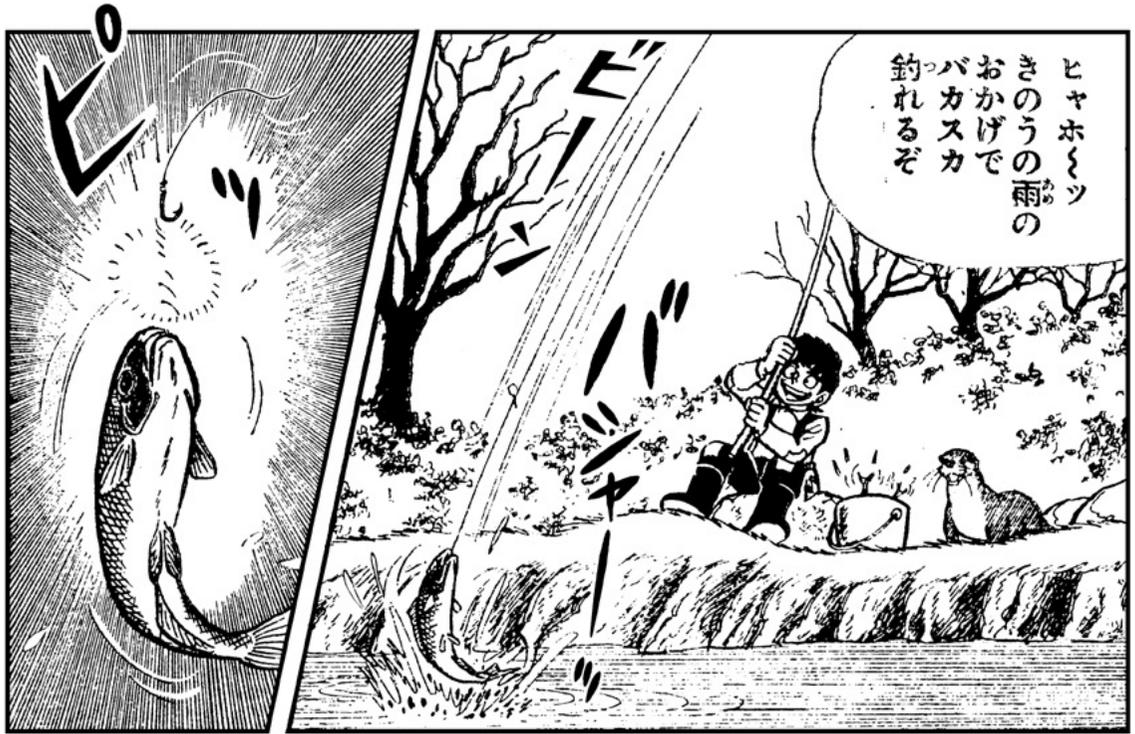




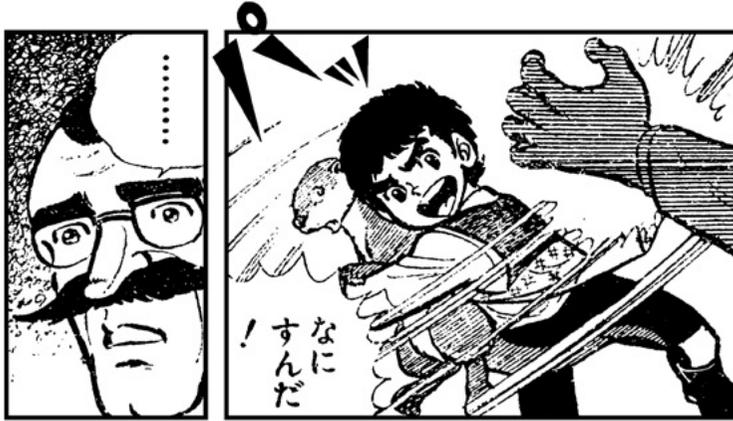
★ニホンカワウソ イタチ科。カワウソの亜種で、他のカワウソよりやや小さく、体長65〜82センチ、尾は29〜49センチ、毛色は暗かつ色、尾は扁平で足に水かきがある。性格はおとなしく、人なつっこい。夜行性で水辺に住み、潜水の名手で魚、カエル、カニなどを捕食する。毛皮がよいので乱獲され、減少してきた。昭和40年に天然記念物に指定された。

















キチ
——ツ!!!



お父^{とう}を
キチを
知らねえ
か!?

どこだ
キチーツ!!!



さ
さあ…
それより
ほれ
博士が先生が
こんな
エエものを
おまえに
だど…

おっ母^{かあ}
知ら
ねえか
?

動物図鑑

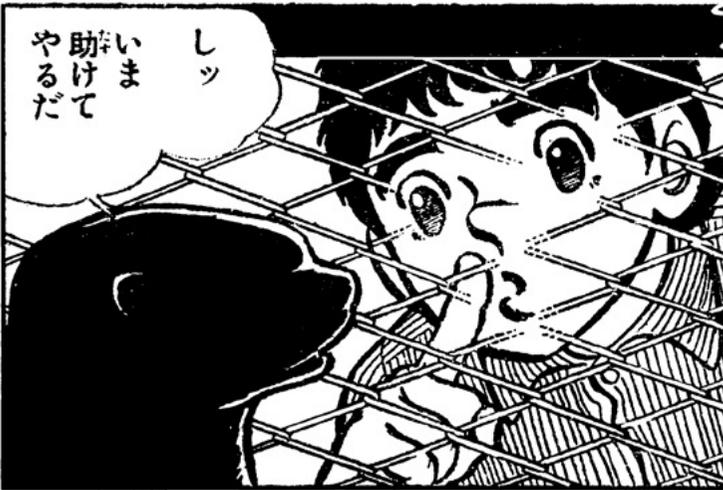
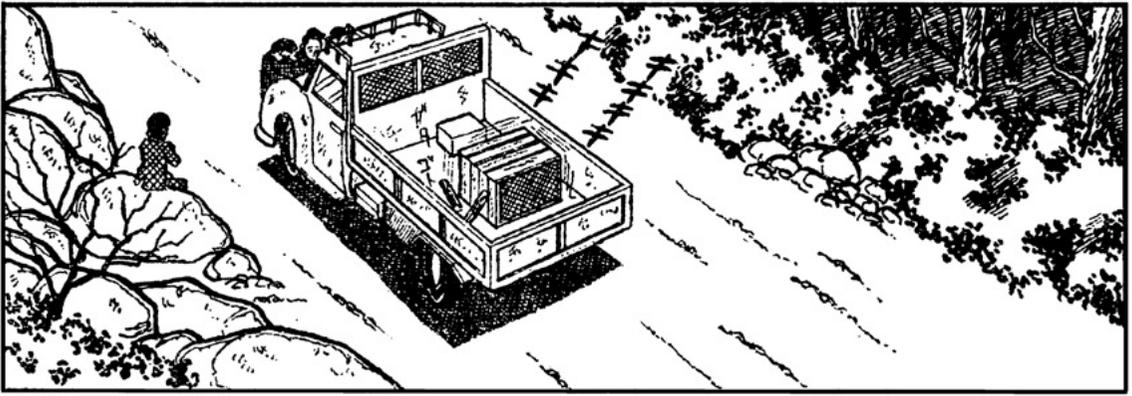


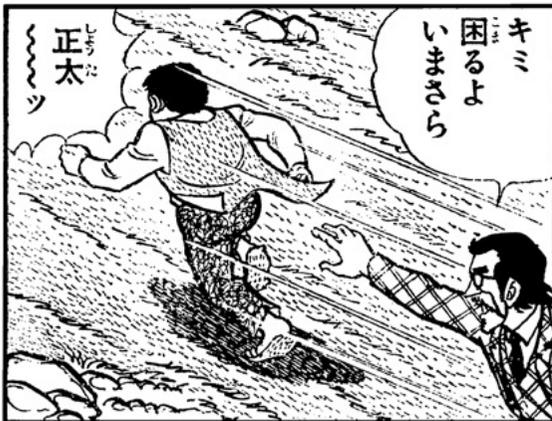
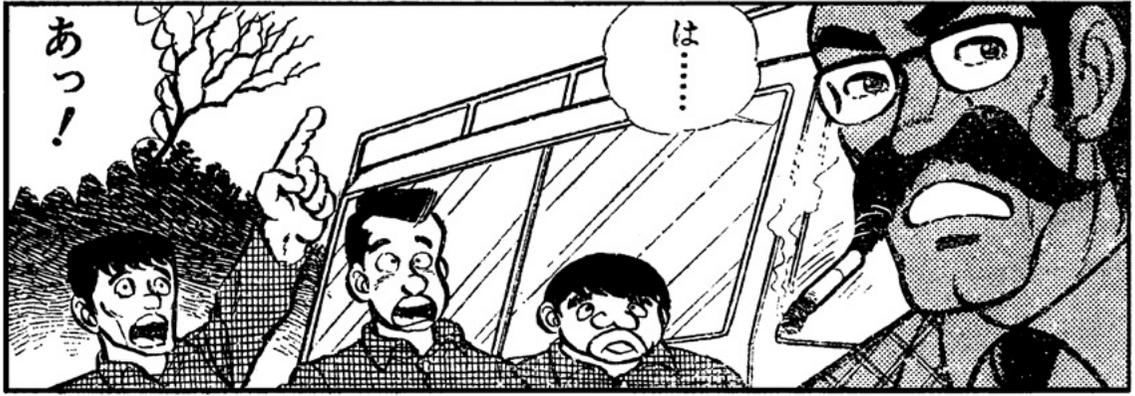
おめえの
服だつて
買って
やれるだろう
と思つてよ…

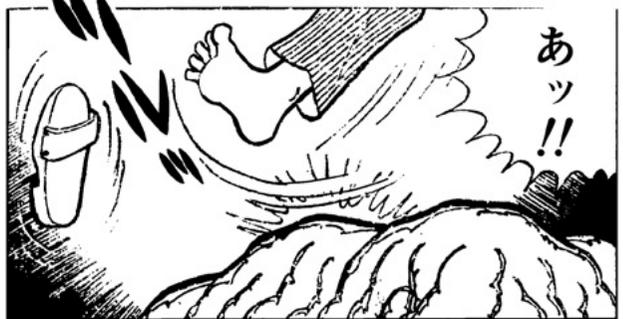


お…
お父^{とう}が
売った!?

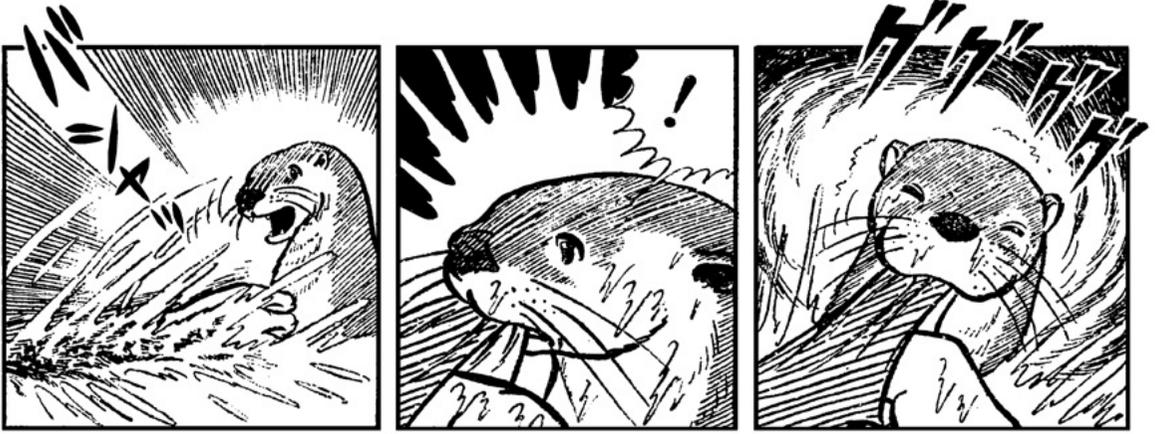


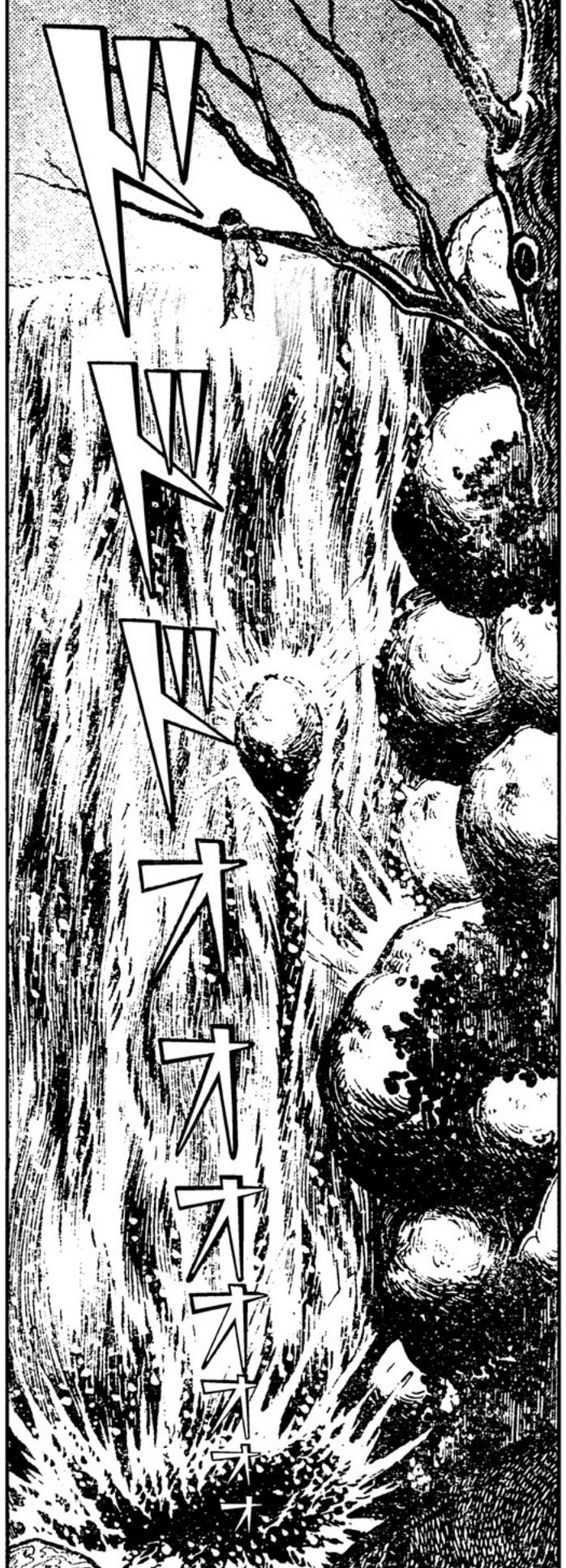
















かたおか徹治の作品ノート 『正太とキチ』

『週刊少年アクション』
1975年、創刊3号に掲載



デビュー作の『ミラーマン』以来、小学館の学年誌
他で2年以上コミカライズの仕事が主流でした。正太
とキチは、本来描きたかった動物漫画での作品です。残念ながら原稿が
残っておらず、ラフ紙印刷の『ガラ刷り』からの修復掲載ですので、画像
に難がある事をお許し下さい。

当時コミカライズからの脱却を強く感じその思いがMAX状態になって
いました。オリジナルの第3作目は動物ジャンルで描きたいという思いで、
10代に観たNHKのドキュメンタリーの『ニホンカワウソ』の番組に着想
を得て、「滅びゆく自然」をカワウソに託し、この作品を持ち込み先も考え
ず描きあげました。

5大週刊少年誌(サンデー/マガジン/ジャンプ/チャンピオン/キン
グ〜順不同)に持込みするも、掲載までには至りませんでした。掲載の
チャンスを得たのは、女性コミック誌『パピヨン』(1972~1974)で占い
のコーナーのイラストの仕事をしていた関係で、同じ双葉社発行の『週刊
少年アクション』編集部で紹介して頂き、最終的に採用となりました。

当時カワウソの情報は、そのNHKのドキュメンタリー番組と書籍か
『野生の王国』(TBSテレビ)や『驚異の世界』(日本テレビ)位しかなく、
ましてやビデオもない時代で、ネーム作成中に国立科学博物館でニホ
ンカワウソの剥製をカメラハンティングし(ついでにニホンオオカミの剥
製も……)なんとか仕上げた作品です。